

阪神タイガース 必勝祈願祭 祝詞

此の處を暫の間 厳の斎庭と祝ひ定め 祓ひ清めて 神籬刺立て 招奉り坐奉る 掛巻くも 畏き産土大神 武甕槌大神 経津主大神 別きても西の方位を 宰き給ひ守護り 給ふ天翔り国翔る 白虎大神等 の大前に

斎主「斎主氏名」 伊 恐み 恐みも 白さく

常に大神等の厚き大御稜威を 蒙り奉り 集団を結び来し 阪神タイガース

球団に在りては 名にし負ふ「監督氏名」 伊 を新らしき上長監督と迎へ

更にも集団の結びも 堅く腹帯を締め直し 心新たに 技を鍛へ 心を練り 励

み 今日より 技競ひ道険しく 争ひ烈しきペナントレースの始むる時を 迎

へたれば 必勝祈願の御祭仕奉らくと 大前に御食御酒を始め 海川山野の

種々の味物を 献奉り 「参列者代表者氏名・他」 伊 を始めて 関係者等

参集ひ 事の由告げ奉り 拜み奉る状を 平らけく 聞食して 選ばれし 選手等

が晴の競の球場に出立ちては 臆する事無く 躊躇ふ事無く 攻むるに 当た

りては 足腰の構へ崩るる事無く 飛び来る球を 誤またず 都姿良を見分けて

心の儘に 打飛ばし 勝星を 落す事無く 挙げしめ 給ひ 守りに 立ちては 球を

投げる者 受ける者との 息の根一つに通ひて 誤らず 速球曲球等を 厳しく

投げしめ 給ひ 各も各も 心の緩び無く 村肝の心を 合はせ 日頃鍛へたる

技の極みを 尽して 雄々しく 勇しく 正しく 相競ひ 優勝の 誉れを 期して

勇み立つ「選手氏名」 伊 等の 強者共を 神誉で 給ひ 嘉し 給ひて 大神等の 奇

しき妙なる 御霊 幸ひ 給ひて 戦ふ 度毎に 勝名乗を 挙げしめ 給ひ 阪神タイ

ガースの 称名を 四方八方に 轟き 渡らしめ 給ひ 選手等に 手の 躰足の 躰

有らしめ 給はず 球団に 力を 尽すべく 弥遠永に 守り 恵み 幸へ 給へと

中執持ちて 恐み 恐みも 白す NPO法人「にっぽん文明研究所」代表 奈良泰秀 作